

川崎 高弘さん（博士前期課程2年）が化学工学会室蘭大会 2018 において関東支部長賞（奨励賞）を受賞しました

平成30年8月20日から21日にかけて室蘭工業大学で行われた化学工学会室蘭大会2018において、大学院自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士前期課程2年の川崎 高弘さんが関東支部長賞（奨励賞）を受賞しました。

種々の化学品製造プロセスで用いられる晶析工程において、寸法や形状が一様な結晶製品を製造するには、結晶化の推進力である過飽和度をプラント操作し、結晶化現象を人の意のままに進ませる必要があります。川崎君は、冷却操作を結晶核の発生と成長の2段階に分割する「2段階冷却法」を新たに開発し、従来冷却法の改良版に相当する「制御冷却法」をさらに改良することに成功しました。川崎君の今後の活躍が期待されます。

発表者：川崎 高弘（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程2年）

（指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：カリミョウバンの非線形回分冷却晶析における粒径分布挙動



川崎 高弘 君

（左）口頭発表の様子、（右）表彰状とともに（左から2人目が川崎君）